

米満猛打賞！投打噛み合い白星発進

1 回戦

2014 年度春季リーグ
第1週 4月7日
1勝0敗

拓大 0 - 7 駒大☆

拓大	000	000	000	0
駒大	000	200	05x	7

「チャンスを狙っていたストリートがきたので思い切った」と語った伊藤の右中間適時2点三塁打で2点を先制する。

さらに8回、連打と四球などで2死満塁とすると、下川知弥(経4)の走者一掃

4回、2死二、一塁の場で伊藤修太(経2)の右中間2点三塁打で勝ち越すと、8回には4点を追加しリードを広げる。投げては今永昇太(経3)が10奪三振の好投をみせ、完封勝利を収めた。

	打安点
(7) 齋藤	521
(4) 前田	510
(6) 下川	533
(8) 江越	311
(2) 木下	310
DH 米満	430
(3) 篠原	200
H3 巻木	100
(9) 伊藤	312
(5) 砂川	300
計	34127
回	打安責
○今永	9 3130



決勝の適時二塁打を放った伊藤

初戦の相手は、昨季連敗を喫し勝ち点を落としたりした拓大。

打線は4回、連打で2死二、二塁の好機を作ると、「チャンスを狙っていたストリートがきたので思い切った」と語った伊藤の右中間適時2点三塁打で2点を先制する。

さらに8回、連打と四球などで2死満塁とすると、下川知弥(経4)の走者一掃

この日特に好調だったのが、米満一聖(菅1)だ。リーグ戦初出場ながら、すべての得点に絡む3安打を放ち、猛打賞を記録した。

先発を任せられた今永は、相手打線に三塁すら踏ませない安定した投球をみせ、10個の三振を奪い完封勝利。試合後、西村亮監督も「四球を出さずにゲームを作ってくれたのでよかった」と今永の投球を評価。エースと打線の活躍で、開幕勝利を飾った。

文||藤本一輝
写真||高橋成美

2 回戦

2014 年度春季リーグ
第1週 4月8日
1勝1敗

打線沈黙、サヨナラ負けで3戦目へ

駒大 1 - 2 拓大

駒大	001	000	000	0	1
拓大	000	010	000	1x	2

	打安点
(7) 齋藤	400
(4) 前田	400
(6) 下川	421
(8) 江越	410
(2) 木下	400
DH 米満	310
(3) 巻木	300
(9) 伊藤	400
(5) 砂川	310
計	3351

▽二塁打=江越	回	打安責
片山	42/3	1831
箱島	31/3	1330
●高橋涼	11/3	921

打線は3回に先制するが、先発・片山雄貴(経3)が5回に1失点。箱島章矢(地2)から継投した高橋涼平(経4)が延長10回に失点しサヨナラ負けを喫した

3回に斎藤導久(法4)が四球で出塁すると、下川知弥(菅4)が「片山をなんとか援護しようと思った」とインコースのストリートを弾き返し、1点を先制。

先発・片山は「そんなに調子は悪くなかった」と4回まで無失点に抑えるが、5回に2つの四死球で危機を招き降板。登板した箱島は2死一、二塁の逃げ切りたい場面、代打・鈴木耀飛(12年)の中前安打で同点に追いつかれ延長戦へ。

延長10回、継投した高橋涼平が2四球と安打を打たれる。2死満塁の危機を招くと4番・末廣瞭介(14年)に中前適時打を打たれ試合終了。

副主将としてチームをけん引する江越大賀(法4)は「明日は相手を飲み込むくらいのやる気と気迫でいきたい。今日のことはいい意味で忘れて、勝ちに行くだけ」と明日への意気込みを力強く語った。

文||北詰友梨
写真||山本春熙



延長10回サヨナラ負けを喫した